

El corazón de México

皆さん、こんにちは。こちらでの生活も残すところ半年ほどとなり、時の流れの速さを感じています。今月は、1月初めに訪れた San Miguel de Allende という小さな街について書いていきます。

San Miguel de Allende は私の住むメキシコシティから 300 キロほど北西に位置する小さな都市です。メキシコの中心部に位置することから、「メキシコの心臓」との意味で“el corazón de México”と呼ばれています。その愛称の通り、街中ではいたるところでハートモチーフの雑貨や壁画などが見られました。また、その街の美しさから、プエブロ・マヒコにも指定されていました（2008年に世界遺産に指定されたためプエブロ・マヒコからは除外）。プエブロ・マヒコというのは「魔法の村」という意味で、「魔法がかかっているかのように魅惑的な自治体や村」にメキシコ政府観光局が与える称号です。美しい自然が残っていたり、

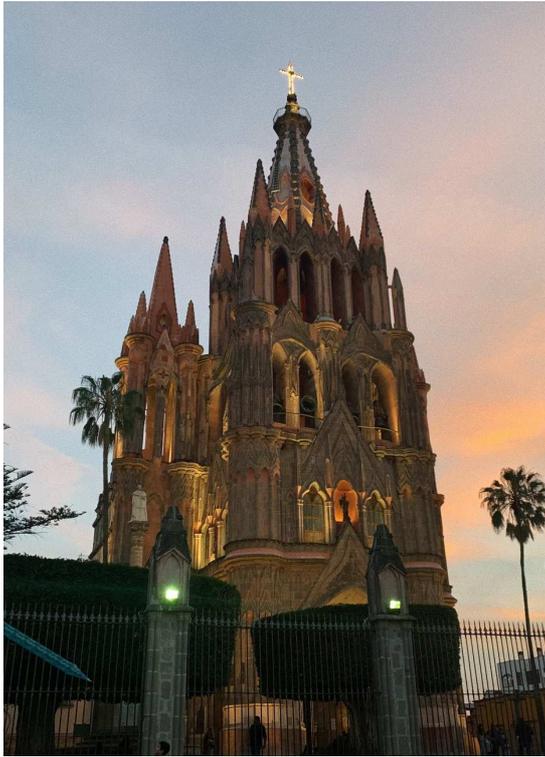
文化遺産や歴史的に重要な遺跡などがある場所が選ばれるそうです。

San Miguel de Allende に行くには、長距離バスを使います。今回は ETN というバス会社を利用し、9 時ごろに出発しました。途中でケレタロを経由し、目的地に到着したのは 14 時過ぎでした。バスターミナルからセントロ（中心地）まではタクシーを利用して 15 分もかかりませんでした。

San Miguel de Allende は観光地ではあるものの、観光スポットはほとんど全てでセントロ周辺に集まっており、徒歩で観光できます。しかし、小さいながらも見所はたくさんあり、大満足の旅となりました。写真とともに紹介していきます。



これは el árbol del corazón といい、「ハートの木」です。街中でこのような木とハートを使ったモチーフが見られました。ある雑貨屋で撮影しました。



続いて、この街のシンボルとも言える La Parroquia (ラ・パロキア) です。パロキアというのはセントロ (街の中心地) に位置するサン・ミゲル教区教会のことです。

建物全体が薄いピンク色をしていて、ライトアップされた姿には目を見張ってしまいます。実はこの色は、地元で採れた石材によるものを使っているために見られるそうです。17 世紀に建設されました。メキシコには珍しく、ネオゴシック様式的です。(普通はスペインのバロック様式が多いです)



そして、個人的に一番の驚きだったのが、こちらです。

Biblioteca Pública de San Miguel de Allende (サンミゲルデアジェンデ公共図書館) といいます。なんと、図書館なのです。入った瞬間にこの圧巻の天井画を見て、圧倒されてしまいました…。

今回紹介したのはほんの一部ですが、魅力がいっぱいの街であることが伝わったかと思います。

また、今回の旅では San Miguel de Allende の街を走るビートルという種類の車がとても印象的だったのを覚えています。ビートルは、タスコという街では

公式タクシーとして活躍していますが、もうすでに生産は終了しているそうです。本当に年季が入ったものもかなり多く、このタクシーとしてのビートルは、メキシコの観光地としての景観を守る為だと言われています。ビートルに限らず、メキシコの車やバスなどはかなり年季が入ったものが多いように感じます。しかし、バスの運転手のみなさんは毎日丁寧にバスを磨き、大切に使っているようです。日本の「もったいない」の考え方と似たものを感じ、また景観を守るためにビートルをタクシーとして採用するということにも日本と通ずるものを感じました。

メキシコシティで普段生活している私ですが、旅に出ると、メキシコシティとそのほかの都市では全く違った顔を持っていることに気づくことができます。街の景観はもちろんなのですが、その地方の特色が強いのもメキシコの好きなところですよ。

また、半年間こちらで生活してみて最も印象的なメキシコの特徴は、家族愛の強さです。メキシコには一年中様々な行事がありますが、そのほとんどを自分の家族と過ごすことが多いそうです。クリスマスはメキシコ人にとって家族と過ごすため、死者の日には、全員で墓を飾り付け何代も先の先祖にまで思

いを馳せます。メキシコを舞台にして制作されたことで有名な映画“リメンバー・ミー”も、家族の尊さについて描かれています。こちらでできた友人のメキシコ人も、何よりも家族をととても大切にしています。また、こちらに来る前は、「メキシコ人は陽気だ」とよく耳にしていましたが、実際に来てみるとやはり全員がそうではありません。メキシコ人と一口に言っても、やはり同じ人間であり、繊細な人や寡黙な人もたくさん出会ってきました。しかし、他人に対する思いやりの気持ちは皆に共通しているのだと感じます。例えばレストランやタコス屋（道にあるのですが）に行くと、お店を出るメキシコ人から必ず“Aproveche!(めしあがれ!)”と声をかけてもらえます。私たちももちろんお店を出る際には同じように言っています。メキシコの好きな文化の一つです。

こちらでの生活もあと半年ほどとなりました。まだまだこちらの文化を肌で感じながら、しっかり学んでいきたいと思っています。